

## 産業医とストレスチェック

産業医とは、事業場において労働者の健康管理等について、専門的な立場から指導・助言を行う医師のことです。産業医は国家資格ではなく、日本医師会が認定する資格です。産業医は、労働者の健康管理等を行う専門性を確保するため、医師であることに加え、専門的医学知識について法律で定める一定の要件を備えています<sup>1)</sup>。認定講習を受けることにより産業医の資格が与えられますが、資格取得後も産業医資格更新、さらに最新の安全衛生分野での知識を得るために認定講習を受けなければなりません<sup>2)</sup>。

労働安全衛生法では、常時 50 名以上の労働者を使用する事業場において、事業者は産業医の選任を義務付けており、1,000 名以上または有害業務に 500 名以上の労働者が従事する事業場では、事業場に専属の産業医を選任することになっています。また、労働安全衛生規則では、その職務を規定しています。産業医活動は、職場巡視、作業環境による健康リスクの評価と改善、健康教育・労働衛生教育、衛生委員会への参加、健康診断と事後措置などで<sup>3)</sup>、ストレスチェック後の面接指導も行います。

2006 年の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」により、メンタルヘルス対策は進展しましたが、職場のストレス問題は大きな課題で、すべての労働者を対象とした健康管理上の制度としてストレスチェック制度が導入されることになりました<sup>4)</sup>。ストレスチェック制度は、定期的に労働者のストレスの状況について検査を行い、本人にその結果を通知して自らのストレスの状況について気付きを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させるとともに、検査結果を集団的に分析し、職場環境の改善につなげることによって、労働者がメンタルヘルス不調になることを未然に防止することを主な目的としたもので、2015 年 12 月に施行されました<sup>5)</sup>。

労働安全衛生法上、実施が義務付けられているストレスチェックとは、調査票を用いて規定される①職場における当該労働者の心理的な負担の原因に関する項目、②心理的な負担による心身の自覚症状に関する項目、③職場における他の労働者による当該労働者への支援に関する項目、の 3 つの領域に関する項目により検査を行い、労働者のストレスの程度を評価し、その評価結果を踏まえて高ストレス者を選定し、医師による面接指導の要否を確認するもののことを言います<sup>6)</sup>。医師は、一定の条件を満たす長時間労働者又は高ストレス者に対して面接指導を実施し、事業者が就業上の措置を適切に講じることができるよう、意見を述べることになっています<sup>7)</sup>。しかし、それ以外にも、産業医面談を希望した場合には面談が実施されます。本学では保健室が窓口となっていますので、気軽に相談されても良いと思います。

### 参考文献

- 1) 産業医とは。日本医師会。 <https://www.sangyo-doctors.gr.jp/About> (参照：2025.2.25)
- 2) 武神健之，新井孝典，宮崎貴幸，他。2015。産業医・労働安全衛生担当者のためのストレスチェック制度対策まるわかり。中外医学社

3) 産業医の仕事と役割. 産業医科大学.

<https://www.uoeh-u.ac.jp/Exam/College/index2/med02.html> (参照 : 2025.2.25)

4) ストレスチェック実務 Q&A 編集委員会. 嘱託産業医のためのストレスチェック実務 Q&A. 2015.産業医学振興財団.

5) ストレスチェック制度. 厚生労働省.

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/index.html> (参照 : 2025.2.25)

6) 倉重公太郎, 清水隆司. 弁護士 & 産業医が教えるストレスチェックと制度の運用とメンタルヘルス対策の実務. 2016. 日本法令

7) 長時間労働者、高ストレス者の面接指導について. こころの耳.

<https://kokoro.mhlw.go.jp/mensetsushidou/> (参照 : 2025.2.25)

文責 中村 有里 (スポーツ健康科学部)